

れ歯ブームと呼んでいます) 模型が一つもないなんて時期もあるんですよ。本当に不思議です。

ただ、痛みの強い方が多くこられるのは、季節の変わり目や連休前に多いんです。何となく分かる気がしませんか? やはり体調を崩しやすい時期や忙しい毎日が続き、久々の休みが目前で「ほっ」としている時期に痛みが出やすいということなのでしょう。

痛みだけ考えてみてもむし歯の大きさやレントゲンだけでは計り知れないものがあります。人間の体って本当に不思議です。

行間を読む

僕が尊敬する医師にアメリカのバーナード・ラウンという心臓外科医がいます。心臓を電気ショックで

蘇生させる(AEDなど)ことを開発した方で、ノーベル賞受賞者でもあります。

お会いしたことなどないのですが、十年ほど前に著書「治せる医師 治せない医師」を読み、一気に虜になってしまいました。その時、何となく自分自身でもやもやしていたものがすつきりした気がしました。その後、本を読み返したりしていなかったのですが、何となく読みたいと思い再び読み始めました。

狭心症の疑いで高価な医療費をかけているんな検査をしている実態に、問診でそのほとんどは判定できると先生は記しています。高価な検査をしてもらうことで安心する患者、収益が上がり喜ぶ医師、お互い良い関係のように見えても医療の関係は崩壊しているとラウン先生は考えてい

ます。それによって医療制度は破綻し、結局は医療そのものが崩壊してしまうだろうと。少し前に書かれた本ですが、まさに現代医療そのものです。

結局は器械に頼りすぎ、問診や聴診器、顔色を見るなど医師として当たり前のことをおろそかにしてきたことが現代医療の問題点なのかもしれません。

ちなみに、問診では相手の心の行間を読めと書いてあります。なかなか深い言葉です。自分を振り返り、「行間?」と考えてみるのですがなかなか…。やっぱり問診のように単純そうに見えるものこそ奥が深いんですね。